



特定非営利活動法人 すくすく子育て
やぎハウス通信

2024年3月13日発行 **VOL.10**



発行元：特定非営利活動法人すくすく子育てやぎハウス
〒325-0074 栃木県那須塩原市松浦町121番地42
TEL/FAX：0287-74-2988
E-Mail：yagihaisu@rb4.so-net.ne.jp
WEB：https://www.yagihaisu.org

「やぎハウス」と「子ども食堂」 ごあいさつ

日頃、やぎハウスに対し、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
子どもの居場所「やぎハウス」もオープンして8年目に入ります。昨年の利用実績がまとまりましたので、概要をお知らせします。特に子育て短期支援事業の利用者が前年度108人から倍増しています。孤立しがちなひとり親世帯の育児疲れが増えている状況です。
また、子ども食堂は毎月第3土曜日の昼食、東原小学校正門脇の店舗でカレーライスを提供しています。昨年1年間の利用は子ども804人、大人365人でした。少しずつ店内飲食が増えてきている状況です。同じく子ども食堂の場所で毎月第1、第3火曜日の16時から20時まで塾に行けていない小中学生を対象に特別学習支援を実施しています。希望される方はご連絡くださるようお知らせします。

理事長 八木澤 秀

①放課後応援事業				②子育て短期支援事業（ショートステイ）				
区分	2023年		1月~12月	区分	2023年		1月~12月	
	開設日数				開設日数			
			202日				134日	
利用者延数	小学生	659	合計 1,012人	利用者延数	2歳未満	2	合計 219人	
	中学生	353			2歳以上	217		
利用状況延数	食事	962	合計 3,289人	③子ども食堂「やぎさんのカレー」				
	入浴・洗濯	71		区分	2023年		1月~12月	
	学習	564			開設日数		12日	
	送迎	1422		提供個数	テイクアウト		850	合計 1,169食
	相談	270			店内食事		319	

まごころありがとうございます

(みんなで囲む手作りの夕食)



〔寄付金、物品等の支援お礼：順不同〕 2023年9月～2024年2月受付分

- ・(有)磯ヶ谷養鶏園様・鈴木内科外科クリニック様・(有)菊地市郎商店様
- ・青木道の駅産直会様・黒磯地区更生保護女性会様・黒磯市場菊地三男様・(株)薄葉設備様
- ・(有)ミートショップかなざわ様・那須塩原市社会福祉協議会様・JAなすの各地区女性会様
- ・子どもの育ちを応援する会様・合同会社住むLabs様・クリームパン屋様・田野りんご園様
- ・NPOドリームフォーキッズジャパン様・JAなすのアグリセンター黒磯様・共英コミュニティ様
- ・あじさい苑様・日本アニメ企画(株)様・しのめファーム様・NPOエネルギーヒーリング協様
- ・菊地彰様・時庭勝彦様・時庭美智子様・岡本賢二様・宮本カツ子様・七瀬美菜応援の方様
- ・近所の間庭様・大田原恒美様・猪瀬律子様・木佐美穂様・末武陽子様・青木の伊藤様
- ・松本雅子様・近所の平田様・近所の塚田様・那珂川町の匿名様
- ・相馬恭子様・後藤和枝様・八木澤陽様・藤田玲子様・伊藤政子様



♡もっともっ と 楽しいこといっぱいしたいね♡

やぎハウスがオープンしたばかりのころは、学校と家をつなぐ「ほっとできる居場所」になれたらいいなあ…。そしてその子が帰宅したら親子で少しだけゆとりを持って過ごせたら…。そんな思っていました。開所7年を経過した今、様々なご支援をいただく中、「もっと、もっと、子どもたちにたくさんの経験を」とのお声をいただいております。

日常生活を応援することだけではなく、経験をどう取り入れていくか、スタッフ一同、考えながら過ごした令和5年度でした。やぎハウスのみんなで楽しむ行事の他に、ひとり一人が求めている時に、求めていることを、という取り組みを行ってきました。子どもたちは皆、それぞれのご家庭で、親のことをよく見えていますよね。「本当はこうしたいんだけど、今大丈夫かな…」なんて。やぎハウスでは「本当はこうしたい」の子どもたちの声に耳を傾け、必要な支援をすることに取り組んでいます。この支援を続けることが、たくさんの夢を描ける子どもたちを、はぐくむことにつながればいいなあと思っています。(k.大谷)

Merry Christmas

今年もやってきました！やぎハウス“クリスマスウィーク”（12月20日～22日）
まずは、みんなが集まるのを待ってゲームをスタート。「たたいてかぶってジャンケンポン」と「モグラたたきゲーム」をしました。スタッフがモグラたたき台も手作りしましたよ。モグラはもちろんスタッフ(>_<) 子どもたちの遠慮のないこと！バシバシたたかれました。ひと遊びすると、子どもたちもモグラになってはぴょこぴょこと、かわいい顔をのぞかせていました。

クリスマスプレゼントは皆様から頂いたかわいいぬいぐるみやグッズを部屋いっぱい飾ってそれぞれに欲しいものを選んでもらいました。

最後はおいしいごはんタイム。久しぶりにバイキングスタイルでみんなの顔を見ながらのパーティーができました！！



次はどこだ？

ぴょこ！



だって…



負けたのほくじゃね？



迷う…



ごちそういっぱい！



【特別学習支援のひとこま】

「こんにちは」と夕方元気にやってくる小学生組。「宿題ある？」のスタッフの質問に「あるけどやりたくない」といつものやり取り。ここからやる気にさせるのが腕のみせどころ。毎回いろいろな手を使い、何とか宿題を終わらせています。

小さなきっかけで子どもたちは変わっていくと信じ、楽しい時間が過ごせるよう工夫しています。(パズル・トランプ・お絵描き・クイズなども取り入れます)

17時半頃には、スタッフが準備した、焼きそば・おにぎり・おいなりさん等を、楽しそうにおしゃべりしながら食べています。小学生組は18時頃に保護者の方が迎えに来て帰って行きます。「またねー」と手を振る姿が可愛い！

その後は、中学生の時間です。昨年4月、2、3人から始まった学習支援ですが、現在は多い日は10人の子ども達が利用しています。なかなか学習に取り組めなかった子ども達が、「先生！」と質問し、落ちついて学習する姿を見て、子ども達の成長に感動しています。

少しずつですが、子どもたちの、家・学校以外の第3の居場所になってきているのではと感じています。

※やぎハウスの事業の一つとして、地域の小・中学生を対象に、月に2回「特別学習支援」を行っています。

